



埼玉の福祉広報



夜も蒸し暑いですが、ぐっすり眠れていますか？



埼玉県社協マスコット
「シャキたまくん」

つながりをチカラに



作品名 「遠泳」 作者 山中 正則さん（社会福祉法人清心会 とも事業所）

山中さんは写真を見ながら作品を創作する。下絵は描かない。しかし、この作品は写真を見ながら描いたものではない。この鯉たちはどこから来たのか。それは作者である彼しか知り得ない。鑑賞者は作品の中に広がる世界から、「遠泳」に想いを巡らせるのだ。

全体のレビューは
こちら



埼玉県障害者アート
オンライン美術館

巻頭インタビュー

笑いでつなげる人と地域
～ 県内の全市町村に
落語の笑いを届ける活動を展開 ～

落語家

古今亭 伝輔 さん



笑いでつなげる人と地域

県内の全市町村に落語の笑いを届ける活動を展開

介護職から落語家に転身した古今亭伝輔さん。埼玉県出身の仲間と一緒に、「埼玉に恩返しをしたい」と県内の全市町村を巡って落語の公演を開催する活動を続けています。落語家を目指した経緯や活動への思いなどを伺いました。

介護の仕事を目指したきっかけをお聞かせください。

私は高校時代に、特別養護老人ホームのボランティア活動に参加しました。大学の推薦入試の際に評価されるだろうという、よこしまな考えからでしたが、とても楽しくて自分に合っている仕事だと感じたのです。

そこで高校卒業後は専門学校に入学して資格を取り、川越市の病院に就職して認知症高齢者の介護を担いました。私はもともと人を楽ませるのが好きだったのでレクリエーションの担当になると、張り切って劇や手品などさまざまな企画を考えて披露しました。毎日、変化のない生活をされている患者さんに少しでも喜んでもらいたいという気持ちが強かったですね。

介護職から落語家に転身された経緯をお話いただけますか。

もともと落語が好きなわけではなかったのですが、落語を題材にしたテレビドラマを見て興味を惹かれ、寄席に通うようになったのです。レクリエーションの時間に、見よう見まねで覚えたネタを演じたこともありました。そのうち、はなし家になりたくなって病院を退職したのですが、友人知人からは「絶対に無理だからやめておけ」と反対されました。しかし25歳で古今亭志ん輔師匠に入門。修業期間はつらいことの連続でしたが「前座」「二ツ目」と順調に昇進し2024年にめでたく「真打」となりました。

落語家

古今亭 伝輔さん

【芸名】 古今亭伝輔 【本名】 和田洋一

1984年7月2日生まれ

埼玉県立志木高校卒業後、専門学校にて介護福祉士を取得
介護職を経て

2009年7月 古今亭志ん輔に入門

2010年1月 楽屋入り 前座名「半輔」

2014年6月 ニツ目昇進 「始」に改名

2024年9月21日 始改メ「古今亭伝輔」真打昇進

2017年 北とびあ若手落語家選手権 奨励賞受賞

持ち前の明るさを生かし、切れのある楽しい落語をお届けしている。
寄席に加え、毎月開催の「伝輔劇場」毎月開催「ささはた寄席」などの東京公演の他、地方公演などで活躍中。地元埼玉63市町村を巡る「しゃべって！さいたま」開催中。



県内を巡って公演を行う「地元落語 しゃべって！さいたま」を2023年にスタートされました。どのような思いで始めたのですか。

私は鶴ヶ島市出身ですが、小川町出身の林家木久彦さんとふじみ野市出身の立川志の太郎さんと3人で「埼玉で育ったから埼玉に恩返しをしたい」という思いで始めました。県内では落語の公演が少ないため、高齢の方から「寄席に行きたいけれど、都内まで足を運ぶのはつらい」という声を聴くこともあったので、県内63市町村を全て巡ることをめざし、落語を楽しんでもらおうと企画したのです。

川越市で旗揚げ公演を開催して、これまで20数か所の市町村を巡りました。東武東上線沿線は3人の



東松山公演（2026年7月）

左から立川 志の太郎さん、古今亭 伝輔さん、林家 木久彦さん

出身地ということもあって多くの自治体で開催できました。

公演活動を通して得られた成果を教えてください。

落語を通して人と人がつながっていくことの素晴らしさを実感しています。公民館以外に飲食店で開催することも多いのですが、落語のあとでお客様とみんなで食事をすると、話がはずんで知らない人同士がつながります。また、例えば鶴ヶ島市で開催すると、周辺の市民の方も来てくれるので、地域を超えて交流の輪が広がります。

私の落語を聴いた方が「面白かったから今日はお友だちを誘って来ました」と落語ファンの輪が広がることもうれしくて、この活動を始めてよかったなと思います。63市町村を巡り終えたら終了するのではなく、ずっと継続していくつもりです。

こどもたちの前で落語を披露することもあるそうですね。

はい、こども食堂で開催したことがあります。ゼロ歳児から小学生、ボランティアの高齢者も参加して、普段の寄席とは異なる雰囲気だったので、このような場面にぴったりの分かりやすいネタがあるので披露したところ、盛り上がりました。

また、公演活動とは別に、小・中・高校の授業時間に行う「学校寄席」を担当することがあります。小学校では落語を聴いてもらうだけでなく、みんなでそばを食べる仕事をまねたりするワークショップを開いて、落語に興味をもってもらえるように努めています。

落語の魅力について教えてください。

古典落語は江戸時代から明治時代にかけて作られた話ですが、人間の本質は変わっていません。皆さんの周囲にもきつという、ちょっと間抜けな人、そっかしい人、ケチな人などが失敗する話が多いので共感しながらくすくすと笑える。それが落語の笑いです。

また、ひとりの落語家何人かの登場人物を演じ分けながら、小道具の扇子と手ぬぐいだけを使ってストーリーを伝えていくことも魅力のひとつ。テレビと違って観客がそれぞれの頭の中で情景を想像するので、脳の活性化につながると思っています。ぜひ話芸のすばらしさを堪能してください。

伝輔さんにとって笑いとは？

私は笑いには大きな力があると感じていて、これまで笑うことができなかった人が笑えるようになれば、それは生きる力につながります。私の落語は陽気で明るいことが取り柄ですので、高齢者やこどもたちも含めた多くの人に、明るい笑いをどんどん届けていきたいと思っています。

最後に読者の皆さんにメッセージをお願いします。

私は福祉の仕事を通して、人と人のつながりの大切さを学ばせていただきましたが、そのことが落語の世界を生きていくうえで生かされています。福祉の仕事は誇りを持てる仕事ですが、心身ともに疲れる仕事でもあります。そんなときはぜひ落語を聴きにきてください。



さいたま市南区のいちご南保育園。自由に遊べる広々とした園庭があり、この園も含めて4つの保育園で医療的ケア児を受け入れている

なないろ会は令和2年、いちご南保育園にて市内で初めて医療的ケア児を受け入れました。きっかけは「どこにも預け先がなくて、私がずっと

さまざまな団体のキラリとした活動を紹介

医療的ケアが必要な子も必要ない子も 同じ空間のなかで互いに育ちあう

社会福祉法人なないろ会（さいたま市）

なないろ会はいちご南保育園、5つの放課後児童クラブ、児童発達支援施設などを運営する社会福祉法人です。いち早く医療的ケア児（※）を受け入れ、障がいのない子どもたちと同じ空間で、ともに育ちあう保育を実践しています。

付いていなければならない」といふ保護者からの切実な声です。法人理事長の三須亜由美さんはなんとか受け入れたと考え、看護師を採用し、行政に相談しながら準備を進めていきました。

受入体制が整い、さいたま市からも事業開始の許可を得て、5人の医療的ケア児を預かることになりました。小児科の経験がある看護師5人がマニッパマンでケアと管理を担当し、保育士と連携しながら協働で支援します。このような安心安全な環境が実現し、保護者は精神的にも時間的にも余裕を持てるようになりました。

令和5年にはいちご南保育園に併設して「児童発達支援なないろ」を開設し、理学療法士、作業療法士などの専門職が曜日ごとに配置され、多職種連携のもとで保育と発達支援を一体的に提供しています。

ライフステージごとに 切れ目なく支援

なないろ会には障がいの有無に関わらず、共に成長することを目指すインクルーシブ保育を取り入れています。ここでは、医療的ケア児は障がいのない子どもと一緒に活動し、日々ふれあって遊んでいます。

また、障がいのない子どもたちは、車いすのこどものためにもちゃを手渡してあげたり、扉を開けてあげたり、人

を思いやる心を育てています。同じ空間で活動することによって、お互いに育ちあっているのです。

さらに三須理事長は「医療的ケアや支援が必要なお子さんの受け入れにあたっては、ライフステージが変わっても切れ目なく実施していくことが重要です。私たちは放課後等デイサービスの事業も行っているので、卒業したお子さんの受け入れも行っています」と話します。同じ法人で引き続き預かってもらえることは、こどもにとっても保護者にとっても大きな安心につながっています。

令和6年からは、市が開設した医療的ケアを必要とする未就学児と家族の支援拠点「医療的ケア児保育支援センター（すまいるスポットさいたま）」を受託運営しています。「保育士と看護師が常駐して相談支援や親子のコミュニケーションの場として機能しています。誰でも通園制度や一時預かりもしていますが、1時間単位で利用できるの、とても喜ばれています」といちご南保育園の園長補佐、後藤康



法人研修では専門の講師を招いての講義や保育士同士の交流等を実施。園内研修も充実しており学びの場を多くつくっている

之さん。ちなみに障がいのないこどもも利用ができます。なないろ会のこれからについて三須理事長は「保育の質と学童クラブの指導員の質を向上させることに引き続き取り組んでいきたい」と考え、法人研修等にも尽力しています。多職種連携によるインクルーシブ保育の裏側には、法人全体で職員の質の向上に取り組む姿がありました。

※医療的ケア児

人工呼吸器の使用やたんの吸引、経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要なこども。医療の発達により増加傾向にある。

今、テーマに
していることは？

福祉への
想いを聞きました！



Q この言葉を選んだ理由を
教えてください

三須さん&後藤さん

十人十色という言葉は、人はそれぞれ性格や考え方が違って、という意味ですが、「ならない会」の七色も同じような意味です。お子さんの育ちはそれぞれで、みんな違って、違っていることがいいのだと考えています。私たちが大切にしたい保育理念は、「お子さまひとりひとりの個性を大切に育てていきたい」という思いです。

障がいもそのお子さんの個性だと捉えて支援しています。医療的ケアが必要な子もそうでない子も、障がいのある子もいない子も、ご依頼があれば等しく受け入れて支援させていただきます。法人内の施設長はみんなそのような思いで運営に携わっています。

Q 地域住民の方にメッセージをお願いします

三須さん&後藤さん

子育てをしていくなかで、誰もが不安を抱くことがあります。誰かに相談することで、その不安が安心に変わることがあります。私たちはしっかりと皆さまの声を傾けながら寄り添ってまいります。

社会福祉法人なないろ会



ホームページ

いちご南保育園
園長補佐

理事長

ごとう やすゆき
後藤 康之さん

みす あゆみ
三須 亜由美さん

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和8年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

被災後に寄り添う「災害ケースマネジメント」の役割（その1）

埼玉県危機管理防災部 災害対策課

「災害ケースマネジメント」とは、被災者のニーズを個別に把握し、専門的な能力をもつ関係者が連携して継続的に支援する被災者の自立・生活再建に向けた取組です。

今回は災害ケースマネジメントの概要について説明します。

1 概要

行政が支援メニューを用意し、利用を申請した被災者に対して支援を提供するというこれまでの手法と異なり、訪問・見守り等のアウトリーチにより、積極的に支援が必要な被災者を発見し、課題を把握することが特徴です。

背景には、熊本地震や能登半島地震をはじめとする近年の災害において、「災害関連死」が多く報告され、高齢者などリスクの高い被災者を必要な支援につなぐことがより求められていることが挙げられます。また、在宅避難者等は支援の網から漏れやすく、支援漏れを防ぐため、アウトリーチによる被災者の状況把握を進める重要性も一層高まっています。

災害対策基本法の改正（令和7年）により、被災者の生活環境を整備するための措置として、新たに「福祉サービスの提供」が追加されました。

高齢者等の要配慮者や在宅避難者などの多様な支援ニーズへの対応が法的に位置づけられたことから、被災者支援の考え方も、従来の「場所（避難所）の支援」から「人（避難者）の支援」へと転換が求められています。

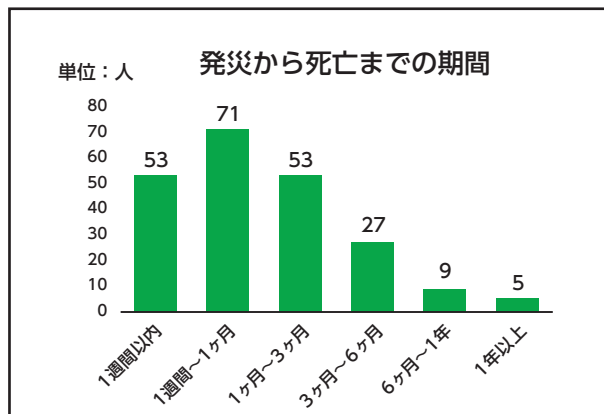
2 推進にむけて

災害ケースマネジメントの推進には、行政のみならず、社会福祉協議会をはじめ、専門的な知見を有する社会福祉法人やNPO等の民間団体などさまざまな主体との協働が必要です。このため、まずは災害ケースマネジメントに関する理解を深めていくことが重要と考えています。

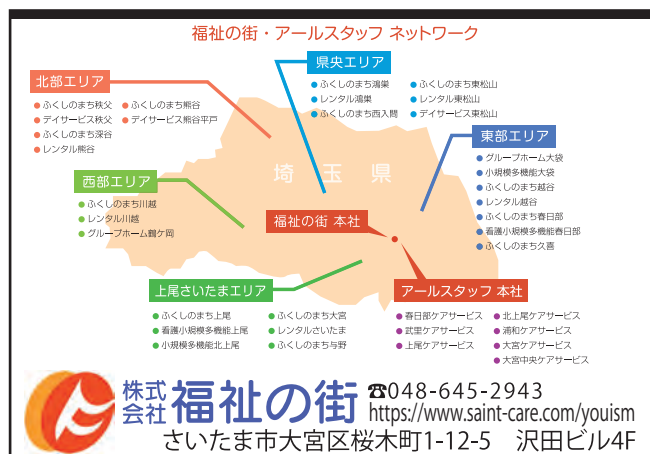
県では、令和7年度に災害ケースマネジメントに関するシンポジウムを開催したほか、災害ケースマネジメントの普及啓発や連携体制の構築等に取り組む人材の育成を進めています。

皆さまには、「誰一人取り残さない」被災者の自立・生活再建の実現に向けて、災害ケースマネジメントへの理解、普及にご協力をお願いいたします。

10月号では災害ケースマネジメントの具体例を紹介します。



災害ケースマネジメント実施の手引き（令和5年3月）内閣府より引用
（出典：熊本県提供資料（震災関連死の概況について））



無料カタログ
お送りします

介護

のことなら何でもお気軽に
ご相談ください!

福祉用具のレンタル・販売 / 住宅改修

Silver

HOXON シルバーホクソン

通話無料

ローゴ

ヨロシク

0120-65-4649

川口市中青木 2-22-34

快適
介護

高齢者の生活を支える
介護用品の専門店

介護用品のレンタル・販売

住宅改修工事の施工

83

掲載広告募集中！お問い合わせは地域連携課まで

TEL : 048-822-1248



体験しよう！参加しよう！こどもの居場所 「こどもの居場所現場体験プログラム」参加者募集中！



学習支援



こども食堂

こどもの居場所

現場体験プログラムページ



県社協では、埼玉県内で活動するこども食堂、無料学習支援教室、フードパントリー等のこどもの居場所で、ボランティアの体験ができる事業を実施しています。こどもの居場所でのボランティアに関心のある方はどなたでも歓迎です。ぜひ一度、体験してみませんか？

【参加者の声】

- ・ただ見学するだけでなく、実際に料理をお手伝いさせていただいたことがよかった
- ・学習支援や地域食堂としての活動が、遊びや会話を通じて交流の場となっており、今後の活動を検討するのに非常に参考になった

実施期間：令和9年3月31日(水)まで(申込締切日：令和9年2月28日(日))

参加費：無料

申込から体験までの流れ：

- ①事前動画(こどもの居場所を体験する前の注意事項(心構え)等)視聴
- ②体験先一覧から希望体験先を選択・申込
- ③希望する体験先で体験(保険加入は県社協で行います)

チラシや体験先一覧など詳細は左記二次元コードからご覧ください。

埼玉県ボランティア・市民活動センターのホームページをリニューアルしました！

ボランティア関連情報を広くお伝えする埼玉県ボランティア・市民活動センターホームページをリニューアルしました。関係機関・団体がPRしたい情報を直接入力できる機能を追加し、ボランティア・市民活動をより活性化していきます。

県民の皆さまの活動に役立つさまざまな情報発信を行っていきますので、どうぞご覧ください！



Point 1 カテゴリーを再編！

【主な掲載情報】

- ・ボランティア活動に関する基礎的な情報、研修、イベント等
- ・ボランティア活動団体への助成金
- ・彩の国ボランティア体験プログラムのご案内
- ・福祉教育に関する取り組み
- ・企業・団体の社会貢献活動に関する情報
- ・災害ボランティアに関する情報
- ・寄付・寄贈のご案内
- ・こどもの居場所に関する情報

下記URLや二次元コードからアクセスできます。
URL:<https://www.fukushi.saitama-vc.jp/index.php>



埼玉県ボランティア・市民活動センター
ホームページ

Point 2 掲載エントリー機能が がつきました！

掲載は無料です。
掲載をご希望の場合は、「お知らせ欄掲載希望の団体様」をご確認ください。

※機関・団体に限らせていただいております。
※内容によっては掲載できない場合がありますので、ご了承ください。

埼玉県ボランティア・市民活動センター(地域活動支援課) TEL 048-822-1435

こども食堂やフードパントリーに冷凍庫を寄贈!!

あんしんポケット（埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会）では、県内でこども食堂やフードパントリーを運営する団体を応援するため、昨年度に引き続き10団体に冷凍庫を寄贈しました。

令和7年度から開始した冷凍庫寄贈は、各団体からとても好評いただいております。あんしんポケットでは今後も“オール社会福祉法人”の力を合わせ、地域で暮らすこどもたちや世帯を支える活動に寄与していきます。

《運営団体からの声》

・企業からの冷凍品の定期寄贈が始まったことや利用者の増加により、冷凍庫の容量が不足していました。冷凍庫のおかげでクリスマスの臨時配布では冷凍ケーキを届けることができ、利用者もとても喜んでいました。

・地元の方からいただいた旬の野菜をカットして冷凍保存しており常に冷凍庫がいっぱいの状況でした。大きな冷凍庫をいただきスタッフ一同大変喜んでおります。夏場のこどもたちへのアイス保管にも活用できるため今からとても楽しみです！



冷凍庫いっぱい食材を保存

生活支援課 TEL 048-822-1249

赤い羽根だより

ありがとうございますが届いています

皆さまからご協力いただいた募金は、県内で実施する福祉活動や社会福祉施設で必要な備品類の購入費用などに活用されています。助成を受けた団体から届いた“ありがとうメッセージ”を紹介します。

社会福祉法人端午会 デイサービスセンターとこの苑(所沢市) 介護浴槽購入事業

皆さまからのご寄付で、20年間使用してきた介護浴槽を買い替えることができました。新しい浴槽はとても清潔でご利用者様も大変喜ばれています。お湯の出し入れが迅速になったことで、職員にとっても、より安全で円滑な介助が可能となりました。これからも末永く大切に使用させていただきます。この度はどうもありがとうございました。



社会福祉法人秩父正峰会 デイサービスセンター楓(秩父市) 送迎用車両購入事業

皆さまからの温かいご支援により、新たに送迎用車両を購入することができました。おかげさまで、秩父の山間地域特有の急坂やカーブ、冬期の雪道においても、高い走行性能により安心して送迎ができています。新車は乗降しやすいステップや広い通路、手すりなどを備え、利用者様の負担軽減にも大きく寄与しております。募金に関わるすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。



共同募金会では、10月30日(金)まで、令和8年度後期助成要望事業を募集しています。

詳細は、本会ホームページ内「助成を受けたい」ページをご覧ください。ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。



社会福祉法人埼玉県共同募金会 年間を通して助成要望を受け付けています。

〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ内
TEL 048-822-4045 FAX 048-824-9819

赤い羽根さいたま  検索

ネット募金
受け付け中!

